

第28回 福岡県学校歯科保健研究大会



開催方法 会場開催及び録画配信

と き 令和5年11月18日(土) 受付 12:30より
13:00~17:00

ところ 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール
(福岡市中央区大名1丁目12-43 TEL092-714-4627)

配 信 令和5年12月1日(金)~令和6年3月31日(日)

一般社団法人 福岡県学校歯科医会

第28回 福岡県学校歯科保健研究大会

ごあいさつ



一般社団法人福岡県学校歯科医会

会長 平瀬 久義

第28回福岡県学校歯科保健研究大会開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。
本研究大会開催に際しご尽力いただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。
福岡県学校歯科医会では、児童生徒が心身共に健康に、且つ安全に学校生活をおくることは、学校安全・学校保健の観点からとても大事なことと考えています。

しかしながら、成長発育期の多感な児童生徒が、体育や部活などスポーツだけでなく日常生活においても歯・口の外傷や歯を失う事になれば、大きなダメージを受けかねません。

現在、むし歯や歯周疾患で歯を失う児童生徒が減少してきたにもかかわらず、外傷によって健全歯を失う状況はなかなか減少していません。

今年度は、学校における歯・口の外傷予防及びその対策に重点を置き、スポーツ歯科医学のスペシャリスト、学校歯科保健・安全について造詣の深い関係者、養護教諭の先生方を講師としてお招きし、研究研修を行うことにいたしました。

本研究大会を通じ、更に子ども達の歯・口の健康に関心をもってもらい、安心・安全な学校生活がおくれるよう、学校歯科保健関係者の皆様のご指導ご協力をいただき、一緒に福岡県の学校歯科保健安全教育の課題の一つとして取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

趣 旨

近年、学校歯科保健活動の結果、むし歯は減少し軽症化してきているが、残念なことに外傷により健全歯を失うケースが増加している。その意味から外傷予防に努めることは、子どもたちのQOLを高め、健康な生活を保持増進するという「歯・口の健康づくり」にとって大きな意味がある。

外傷の発生を未然に防ぐためには、自らの安全や他人の安全について学習し、危険を予測し回避する能力の向上、規律・規則の遵守などによる安全確保など、安全について人間性に根ざした態度や習慣などを身につける保健教育の実施は重要である。

このような観点から本研究大会では、歯・口の健康づくりの総合的展開を目指してという主題の基に、「安心・安全な学校歯科保健活動」に焦点をあて研究、協議を行うものである。

～ 開催要項 ～

- | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------|
| 1 主 題 | 「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」
～「生きる力」を支える安心・安全な学校歯科保健活動～ | |
| 2 参 加 者 | 学校歯科医、歯科医師、歯学教育関係者、県市町村教育委員会関係職員、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び保育所等の教職員、歯科衛生士、PTA関係者、学校給食関係者、後援団体関係者、学校保健関係者 | |
| 3 開 会
(13:00) | 福岡県学校歯科医会副会長 | 三 箇 正 人 |
| 4 挨 拶 | 福岡県学校歯科医会会長 | 平 瀬 久 義 |
| 5 来 賓 祝 辞 | 福岡県教育委員会教育長
日本学校歯科医会会長
福岡県歯科医師会会長 | 吉 田 法 稔
柘 植 紳 平
江 里 能 成 |
| 6 表 彰 | 福岡県 よい歯の学校表彰・学校歯科医表彰
福岡県 歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール | |
| 7 実践活動報告
(13:40～14:05) | 「歯と口の健康づくりを通して育てる望ましい生活習慣」
～学校・家庭・地域のつながりを深めながら～
北九州市立泉台小学校 養護教諭 安 富 陽 子 | |
| 8 特別講演
(14:10～15:20)
休 憩 | 「学校での歯・口の外傷予防を推進しましょう」
一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 理事長 安 井 利 一 | |
| 9 基 調 講 演
(15:45～16:10) | 「学校等での事故を減らすために」
独立行政法人日本スポーツ振興センター
災害共済給付事業部福岡業務推進課 課長 藤 山 大 祐 | |
| 10 時 局 講 演
(16:15～16:50) | 「学校歯科保健の最新の動向」
公益社団法人日本学校歯科医会 会長 柘 植 紳 平 | |
| 11 感謝状贈呈
(16:55) | | |
| 12 閉 会
(17:00) | 福岡県学校歯科医会副会長 | 田 中 敏 治 |

会場開催参加をご希望の方は、申込書にて郵送又はFAXでお申し込みいただくか、
下記大会ホームページよりお申し込みください。

大会ホームページ <https://taikai2023.fk-gakusi.jp/>



実践活動報告

「歯と口の健康づくりを通して育てる望ましい生活習慣」 ～学校・家庭・地域のつながりを深めながら～



北九州市立泉台小学校

養護教諭 安富陽子

コロナ禍の令和2年度に赴任し、一斉休校から分散登校を経て、定期健康診断の実施にも制限があるなかでのスタートでした。今まで当たり前に行っていた給食後の歯みがき励行、集合型での学校保健委員会や児童保健委員会による集会等の実施も難しくなりました。

例年より少ない活動の機会ではテーマをしぼる必要があると感じ、生涯を通じての健康の土台となる「歯と口の健康」をテーマとしました。

1 学校保健委員会

「毎日の歯みがきをとおして、自分の健康について考えよう」
各学級ごとに年間のめあての設定と家庭への周知

2 児童保健委員会での取組

- ① はみがき・せいかつアンケート
- ② 歯と口の標語募集および表彰
- ③ 動画作成「予防戦隊ハダイジャー」

3 学級活動

- ① 発育測定後の指導
- ② 全国小学生歯みがき大会

略 歴

平成26年4月	北九州市立黒崎中央小学校	勤務
令和2年4月	北九州市立泉台小学校	勤務

特別講演

「学校での歯・口の外傷予防を推進しましょう」



一般社団法人日本スポーツ歯科医学会

理事長 安井 利一

スポーツ庁は、令和4年3月25日に第3期「スポーツ基本計画」を公表した。この中で「今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策」のなかに「スポーツを実施する者の安全・安心の確保」が挙げられている。また、学校保健安全法第26条にも安全への努力義務が規定されている。学校管理下での歯・口の外傷の発生は、発達段階によって原因は変化する。例えば、小学校では廊下や階段での事故によるものが主であり、中学生では校内での外傷と課外指導での外傷が同程度となる。特に歯・口の外傷ではバスケットボールに外傷が集中する特徴を持っている。高等学校においては、まさに課外指導による外傷が中心となるので、クラブ活動における安全教育・安全管理の徹底を図るべきである。学齢期の歯・口の外傷は児童生徒のQOLにも大きな影響を与える可能性がある。学校において危険の防止は必要欠くべからざるものであり、その基礎を培う力をどのようにして獲得するかは重要である。

略 歴

昭和52年3月	城西歯科大学（現明海大学歯学部）卒業
昭和56年3月	城西歯科大学大学院修了（歯学博士）
平成9年4月	明海大学歯学部教授
平成20年4月	明海大学 学長（令和5年3月まで）
令和5年4月	学校法人明海大学理事、明海大学名誉教授

基 調 講 演

「学校等での事故を減らすために」



独立行政法人日本スポーツ振興センター
災害共済給付事業部福岡業務推進課

課長 藤 山 大 祐

このたびは、このような講演の機会をいただき、平瀬会長はじめ福岡県学校歯科医会の皆様に感謝申し上げます。

また、福岡県の歯科医の先生方には、独立行政法人日本スポーツ振興センター（J S C）の災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給）へ多大なご協力をいただいていることに、この場を借りて感謝申し上げます。

J S Cでは、学校等の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して、災害共済給付を行うとともに、災害共済給付の実施によって得られる災害事故情報を活用した学校等の事故防止のための取組を推進しています。

今回は「学校等での事故を減らすために」と題して、「学校等における歯の災害事例」や「福岡県の災害の状況」、J S Cウェブサイト「災害共済給付W e b」などを紹介させていただきます。

略 歴

平成28年1月	独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部 安全支援課 勤務
平成31年4月	独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興事業部 支援第一課 勤務
令和3年4月～現在	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部 福岡業務推進課 勤務（令5年4月から現在の部名）

時 局 講 演

「学校歯科保健の最新の動向」



公益社団法人日本学校歯科医会

会長 柘 植 紳 平

学校における口腔の疾病と言えば、「むし歯」と「歯肉炎」が思い浮かぶでしょう。しかし、ここ20年ほど前から、第3の疾病の存在が無視できなくなってきていました。それは歯列・咬合や顎関節に関連した疾患です。平成25年に文部科学省で開催された、今後の健康診断の在り方検討委員会から出された報告書には、こんな一文があります。

今後は歯列・咬合及び顎関節についても大きな課題となってくる。これらは「食べ物を取り込み、食べる」機能、「表情をつくり、話す」機能及び「運動を支え、体のバランスをとる」機能等に直接関わっており、生活の質に関係してくるため、学校歯科医はもちろん、教諭、養護教諭をはじめとする教職員にも、その重要性の共有が求められている。

さらに令和3年6月に国会で一般的な矯正治療が医療保険の対象外であることについて質問され、当時の文科大臣が調査して善処すると答えたことから、日本学校歯科医会役員が文科大臣に呼ばれ実情の説明をすると共に、その後の対応について話し合われました。その結果として令和4年3月末に文科省から都道府県教育委員会に通知文が出され、それに呼応して日本学校歯科医会から各都道府県歯科医師会等に文書が発出されました。

もう一つ、令和3年6月にフッ化物洗口と教職員の働き方改革に関連した国会質問があり、文科大臣からはこれについても文科省と日本学校歯科医会で協議してほしいと要望が出されました。この協議結果も令和3年度中に結論が出ていたのですが、ちょうど厚生労働省で平成15年に出された「フッ化物洗口のガイドライン」の改定作業中であったため、それとの整合性を考え、文科省からの文書発出のタイミングを待つようお願いしてありました。この事務連絡も文科省から令和4年度中すでに発出されています。

本日はこうした経緯を踏まえて学校歯科保健の最新の動向をお話しし、皆様と情報共有できれば幸いです。

略 歴

＜学歴、大学・学会職歴等＞	2002年	文部科学省学校歯科保健参考資料作成相談員
1981年3月 福岡県立九州歯科大学卒業	2003年4月	(社)日本学校歯科医会常務理事(～2007.3)
1983年9月 つげ歯科医院開設(現在に至る)	2006年	日本スポーツ振興センター歯牙障害防止委員会委員
1999年12月 学位取得(歯学博士)		
＜歯科医師会等関係職歴等＞	2007年4月	(社)日本学校歯科医会副会長(～2012)
1997年4月 (社)岐阜県歯科医師会理事(～2009.3)	2009年4月	(財)日本学校保健会副会長(～2012)
2021年4月 (一社)恵那市歯科医師会会長(現在に至る)	2010年	文部科学省学校歯科保健資料作成協力者
＜学校歯科関係職歴等＞	2010年	日本スポーツ振興センター業務運営委員(～2012)
1984年4月 恵那市立中野方小学校学校歯科医(現在に至る)	2017年7月	(一社・公社)日本学校歯科医会副会長(～2023.6)
1999年4月 (社)日本学校歯科医会理事(～2003.3)	2023年6月	(公社)日本学校歯科医会会長(現在に至る)



健康診断票（歯・口腔）

▶ 健康診断の流れと要点

1. 保健調査票で本人の状態や問題点を確認

2. 口を閉じて姿勢を正して座らせ、姿勢・顔面・口の状態を外部から診査

異常あり→学校歯科医所見欄に記入

3. 顎関節部に指を当て、口を開閉させて顎関節と歯列・咬合の状態をそれぞれ診査

顎関節

- 異常なし → 0
- 要観察 → 1
- 要精密検査 → 2

歯列・咬合

- 異常なし → 0
- 要観察 → 1
- 要精密検査 → 2

4. 前歯部の歯垢の付着状態を診査

- ほとんどなし → 0
- 歯面の1/3以下 → 1
- 歯面の1/3以上 → 2

5. 前歯部の歯肉の状態を診査

- 異常なし → 0
- 要観察 (GO) → 1
- 要精密検査 (G) → 2

年齢	性別	顎関節	歯列・咬合	歯垢の状態	歯肉の状態	歯式															
						8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
10歳	H	①	①	0	0	・現在歯 (例 \times) ・う歯 [未処置歯 C 処置歯 O] ・喪失歯 (永久歯) △ ・要注意乳歯 × ・要観察歯 CO															
						上	右	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6
28歳	H	2	2	②	2	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 上 右 E D \times B A A B C D \times O 下 左 \times D C B A A B C D \times C															
						8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

歯式

現在歯 (✓)
(-)

未処置歯 (C)

処置歯 (O)

喪失歯 (△)

要注意乳歯 (×)

- 乳歯、永久歯とも斜線または連続横線で消す
- 治療を要する歯、治療中の歯
- 修復されている歯
- う蝕が原因で、永久歯の喪失したもの
- 矯正、外傷など、う蝕以外の原因により喪失した永久歯には▲を補助記号として使用する（福岡県方式）
- 保存の適否を考慮する必要がある乳歯
- 処置歯、未処置歯としては扱わない

*歯・口の健康診断の意義： 教育の場で行われる健康診断は、「保健管理」「保健教育」の一環として行われるものであり、児童生徒が自分の健康状態を知り、健康の保持推進を目的とするものであり決して確定診断を行うのではなく、「健康」「要観察」「要治療・要精密検査」にスクリーニング（ふるい分け）することである

歯・口の健康診断は6月30日までに実施



6. 歯の状態を診査
7. その他の歯の疾病及び異常を診査
8. 児童生徒が抱えている問題や相談があればそれに応じる
9. 学校歯科医所見欄に記入
10. 事後措置

終了

学 科	歯の状態						その他の 疾病及び 異常	学 科 校 医 事 後 措 置				
	乳 歯			永 久 歯								
	現在 歯数	未処 置歯 数	処置 歯数	現在 歯数	未処 置歯 数	処置 歯数			喪失 歯数			
8 CO	上	4	2	1	20	1	2	0	上唇小帯異常	CO GO	6 月 4 日	歯 み か き 指 導
7 C	下									要注 意乳 歯		

要観察歯(CO)

- 小窩裂溝の着色あり
- 平滑面の白濁、褐色斑有り
- COは未処置歯として扱わない
- エナメル質の実質欠損が認められない
- 所見欄にCOと記入する
- 隣接面や修復物下部の着色変化、COが多数認められる場合、所見欄にCO要相談と記入する

乳歯のサホライド(⊕)

- 進行が止まっている場合は⊕を補助記号として記入する
- 未処置歯として扱うが、治療勧告しない

シーラント(⊙)

- シーラントは健全歯とする(継続的観察を必要とする)
- シーラントかレジン充填か迷うときはシーラントとする

学校歯科医所見欄

- * 歯肉の状態を調査して要観察「1」の場合必ずGOと記入する
- * 歯肉の状態を調査して要精密検査「2」の場合必ずGと記入する
- * 歯石の沈着が認められるが、歯肉の炎症が認められない場合Gとせず、「0」と判定し「歯石沈着」あるいはZSと記入する
- * 歯式のなかにCOがあれば必ずCOと記入する
- * COが多数認められる場合や地域の歯科医療機関との連携が必要な場合CO要相談と記入する
- * 歯式のなかに要注意乳歯があれば要注意乳歯と記入する
- * 矯正治療中の場合は矯正治療中と記入する
- * ブリッジ・局部床義歯等が必要な場合は補綴を要すると記入する
- * 学校歯科医所見欄に必要な所見を記入後、押印する

* 顎関節、歯列・咬合、歯垢の状態、歯肉の状態：必ず0・1・2と記入

* 歯式： /・C・CO・O・⊙・⊕・△・▲・× 記入

* その他の疾病及び異常： ゆ合歯・エナメル質形成不全・中心結節・変色歯・粘液腫・小帯異常・過剰歯・口角炎・円錐歯等

* 学校歯科医所見欄の記入： CO・CO要相談・GO・G・ZS・要注意乳歯・補綴を要する・矯正治療中・その他留意すべき項目

* 事後措置： 治療の勧告・清掃指導・食生活指導・健康相談等



歯・口の健康診断結果の統計調査

1. 統計調査の趣旨

学校歯科医は、養護教諭を始めとして学校保健関係者ととも児童・生徒の歯・口の健康を預かっている。

これらの学校歯科保健を進めていく上で、私たち学校歯科医や養護教諭が適切な指導・措置を行うには、担当する学校の児童・生徒の健康状態を正しく知る必要がある。

すなわち、科学的な根拠に基づいたデータにより、健康状態を把握することが重要である。そのデータとはDMFT、DMF者率、GO者率、G者率などである。

勘や予想ではなく、正しい健康状態の評価分析及びその対策ができてこそ、歯・口から全身の健康づくりのための指標として、21世紀を担う子ども達への健康教育に大いに寄与すると考える。

2. 調査の対象

- (1) 調査校 福岡県内の小学校及び中学校全校を調査対象とする。
- (2) 調査児童生徒 各学校の全学年、全クラスを対象とする。
- (3) 調査期日 令和4年度 歯・口の健康診断の結果による。

3. 調査項目

児童・生徒健康診断票（歯・口）に基づく以下の事項
未処置歯のある者の率（乳歯+永久歯）、処置完了者率（乳歯+永久歯）、
DMFT、DMF者率、GO者率、G者率、CO保有者率

4. 統計調査集計

令和4年度福岡県学校歯科医会 統計調査集計

調査協力郡市区		調査学校数	児童・生徒総数
小学校	23地区	467校	159,639人
中学校	23地区	212校	72,831人
高等学校	24地区	67校	41,363人

令和4年度福岡県小・中学校及び高等学校（公立）健康診断集計結果

全学年	全学校数(校)	提出校数(校)	被験者数(人)	未処置歯のある者の率(乳歯+永久歯)(%)	処置完了者率(乳歯+永久歯)(%)	未処置歯のある者の率+処置完了者率(乳歯+永久歯)(%)	一人平均むし歯経験歯数 DMFT(永久歯)(本)	むし歯経験者率(永久歯)(%)	GO者率(%)	G者率(%)	CO保有者率(%)
小学1年	568	467	25,949	20.53	16.94	37.47	0.06	3.77	6.04	0.54	9.33
小学2年	568	467	26,078	22.48	23.05	45.53	0.14	7.96	8.95	0.91	11.59
小学3年	568	467	26,399	23.63	27.29	50.91	0.26	13.55	11.15	1.44	14.23
小学4年	568	467	26,806	23.93	28.26	52.19	0.38	18.82	11.87	1.66	14.43
小学5年	568	467	26,987	19.85	24.97	44.83	0.48	22.23	12.41	2.07	14.39
小学6年	568	467	27,420	16.08	21.01	37.09	0.61	25.24	13.53	2.52	14.43
中学1年	267	212	24,638	15.34	20.83	36.18	0.86	32.70	16.47	2.72	15.35
中学2年	267	212	24,132	17.37	21.83	39.19	1.12	36.99	17.57	3.37	16.98
中学3年	267	212	24,061	18.74	25.26	44.00	1.40	41.95	18.13	3.61	19.45
高校1年	104	67	14,389	20.90	24.18	45.08	1.62	45.75	17.00	4.26	21.16
高校2年	104	67	13,252	22.61	26.92	49.53	1.90	49.36	17.47	3.79	25.10
高校3年	104	67	13,722	24.89	28.38	53.26	2.15	51.95	15.77	3.99	25.56



集計方法（記入例）

●クラス単位〈小集計〉

小集計表

小集計表

(6)年 (1)組

番号	未処置歯・喪失歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	処置歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	未処置歯 永久歯(D) 本数	処置歯 永久歯(F) 本数	喪失歯 永久歯(M) 本数	GO 人数	G 人数	CO 人数
1	(0)	(0)	0	0	0			1
2	(0)	☆(1)	0	0	0			1
3	(2)	(0)	0	0	0			
4	(0)	☆(3)	0	3	0	1		
5	(4)	(8)	0	6	0		1	1
6	(1)	(5)	0	3	1			
7	(1)	(3)	1	2	0	1		
8	(2)	(0)	2	0	0	1		1
9	(4)	(0)	3	0	1			
10	(5)	(4)	2	4	1			1
11	()	()						
12	()	()						
13	()	()						
14	()	()						
15	()	()						
合計	未処置歯のある者 (乳歯+永久歯) イ①◆ 7人	処置完了者 (乳歯+永久歯) ウ②◆ 2人	エ(D計) 8 本	オ(F計) 18 本	カ(M計) 3 本	ケ(GO計) 3 人	コ(G計) 1 人	サ(CO計) 5 人
計	被験者数 ア 9人		未処置歯+処置 歯+喪失歯(永 久歯)本数含 キ 29 本			永久歯のむし歯 経験者数 (DとMとFが1本 でもある人数) ク 7 人		

(6)年 (2)組

番号	未処置歯・喪失歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	処置歯 (乳歯+永久歯) 人数(本数)◆	未処置歯 永久歯(D) 本数	処置歯 永久歯(F) 本数	喪失歯 永久歯(M) 本数	GO 人数	G 人数	CO 人数
1	(0)	☆(1)	0	1	0			1
2	(3)	(2)	1	2	1	1		1
3	(2)	(0)	1	0	0			
4	(3)	(1)	3	1	0		1	1
5	(1)	(1)	1	1	0	1		1
6	(1)	(2)	1	2	0		1	
7	(0)	(0)	0	0	0	1		1
8	(3)	(4)	3	3	0	1		
9	(0)	☆(2)	0	1	0			1
10	(2)	(2)	1	2	1		1	1
11	(3)	(0)	2	0	0			1
12	(4)	(1)	3	1	1			1
13	()	()						
14	()	()						
15	()	()						
合計	未処置歯のある者 (乳歯+永久歯) イ①◆ 9人	処置完了者 (乳歯+永久歯) ウ②◆ 2人	エ(D計) 16 本	オ(F計) 14 本	カ(M計) 3 本	ケ(GO計) 4 人	コ(G計) 3 人	サ(CO計) 9 人
計	被験者数 ア 11人		未処置歯+処置 歯+喪失歯(永 久歯)本数含 キ 33 本			永久歯のむし歯 経験者数 (DとMとFが1本 でもある人数) ク 11 人		

集計上の注意

むし歯所有者：未処置歯のある者(乳歯+永久歯)+処置完了者(乳歯+永久歯)

①未処置歯のある者[イ]：乳歯においては未処置歯、永久歯においては未処置歯又は喪失歯のいずれかを1本でも有する者の人数。

②処置完了者[ウ]：乳歯、永久歯いずれもすべての処置を完了している者の人数。

*未処置歯数(乳歯+永久歯)・喪失歯数(永久歯)と処置歯数(乳歯+永久歯)が共に0の者は処置完了者には該当しない。

*未処置歯(乳歯+永久歯)・喪失歯(永久歯)が存在する場合、処置完了者には該当しない。

※上記小集計表の処置完了者は、☆印の付いている6年1組の2番・4番、6年2組の1番・9番が該当する。

※上記小集計表の◆印、未処置歯(乳歯+永久歯)・喪失歯(永久歯)[イ]や処置歯(乳歯+永久歯)[ウ]については、本数は必ずしも記入する必要はない。

※要注意乳歯は集計の対象としない。

◎むし歯経験者数[ク]とは、永久歯の未処置歯、処置歯、喪失歯のいずれかが1本でもあるものの人数を記入する。したがって処置完了者も含まれる。

●各クラス単位〈小集計〉を集め、学校単位の〈大集計〉に書き写します

大集計表〈小学校の状態〉

()市・町・村立()小学校

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ
被験者数	未処置歯 のある者 (乳歯+ 永久歯)	処置 完了者 (乳歯+ 永久歯)	未処置歯 総本数 (D)	処置 歯 総本数 (F)	喪失 歯 総本数 (M)	未処置歯 総本数(D) 処置歯 総本数(F) 喪失歯 総本数(M) 総合計	むし歯 経験者 数 (D,M,Fが1 本 もある 人数) 永久 歯	GO 人数	G 人数	CO 人数 (乳歯+ 永久歯)	未処置歯 のある者 の率 (乳歯+ 永久歯)	処置 完了者 率 (乳歯+ 永久歯)	未処置歯 のある者 の率 + 処置 完了 者率 (乳歯 + 永久 歯)	一人 平均 むし 歯 経験 歯 数 DMFT 永久 歯	むし 歯 経験 者 率 永 久 歯	GO 者 率	G 者 率	CO 保 有 者 率	
単位	人	人	本	本	本	本	人	人	人	人	%	%	%	本	%	%	%	%	
1年																			
2年																			
3年																			
4年																			
5年																			
6年	22	16	4	24	32	6	62	18	7	4	14	72.73	18.18	90.91	2.82	81.82	31.82	18.18	63.64
計 (全体 1年~ 6年)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ=エ+オ+カ	ク	ケ	コ	サ	シ=イ÷ア	ス=ウ÷ア	セ=シ+ス	ソ=キ÷ア	タ=ア	チ=ア	ツ=ア	テ=ア

(例) 78.62% 3.14 (DMFT) 小数点第3位を四捨五入し記入する

▽集計上の注意▲

◎ 被験者数[ア]とは乳歯、永久歯の有無にかかわらず検査を受けたもの全員の人数を記入する。

◎ 未処置歯とはC、2次う蝕をさす。

◎ 処置歯とは○をさす。

◎ 喪失歯とは△をさす。ただし外傷、矯正などむし歯以外の原因による喪失歯▲は除く。

◎ 永久歯むし歯経験者率[タ]=むし歯経験者数[ク]÷被験者数[ア]×100

◎ 永久歯一人平均むし歯経験歯数(DMFT)指数[ソ]=未処置歯総本数
処置歯総本数
喪失歯総本数 } 総合計[キ]÷被験者数[ア]

◎ GO[ケ]、C[コ]、CO[サ]については人数を記入する。

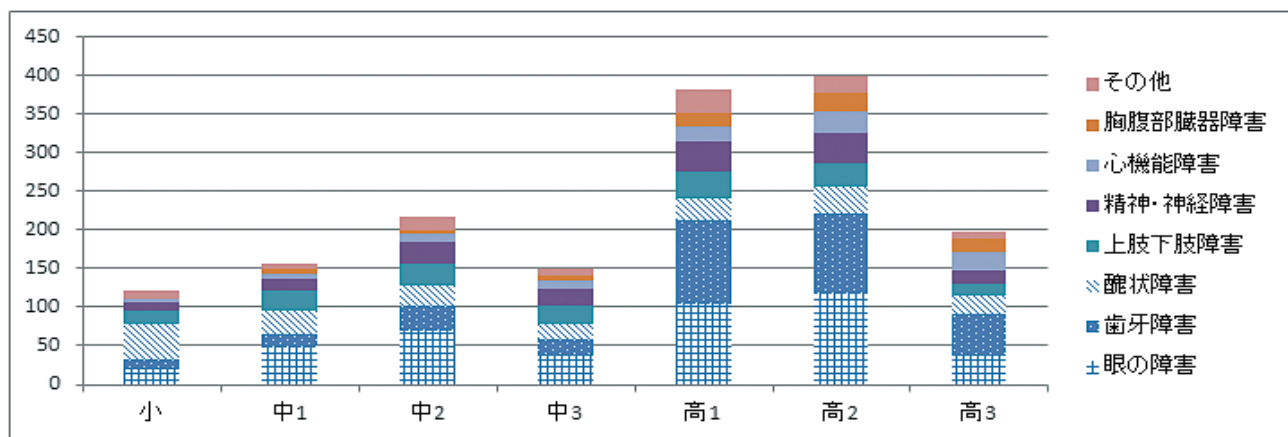
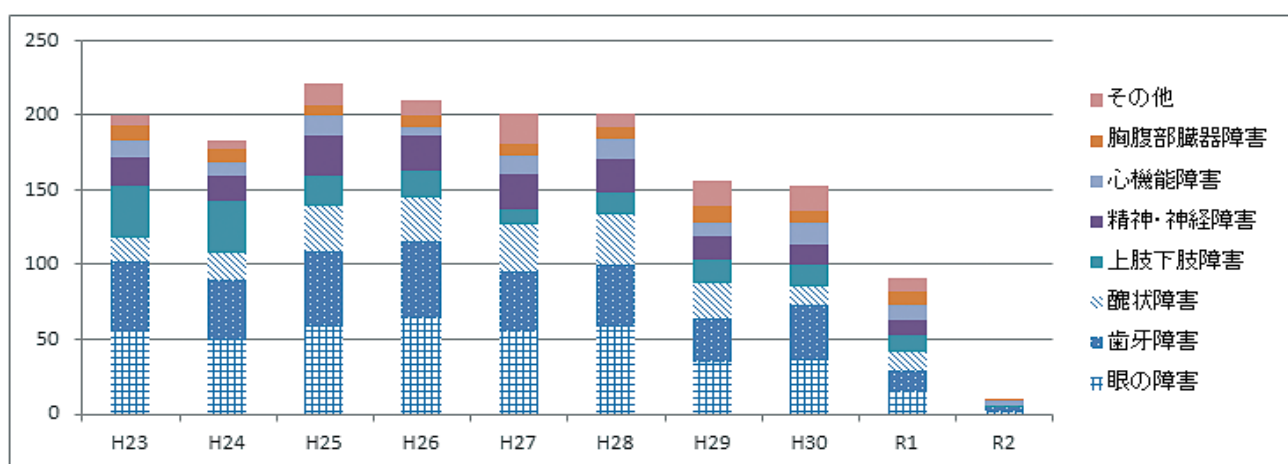
◎ CO[人数、保有者率]については永久歯・乳歯を含めて対象とする。

学校での歯・口の外傷予防を推進しましょう

(一社) 日本スポーツ歯科医学会理事長
 日本スポーツ振興センター「学校等における事故防止調査研究委員会」委員
安井 利一

1. 学校管理下での分析から

学校の管理下で10年間（平成23年度～令和2年度）に発生した体育活動中（体育の授業、運動部活動、体育的行事等）における事故で、災害共済給付の障害見舞金（第1級～第14級）を給付した事例1,617例を分析した。



	小	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
眼の障害	19	47	69	35	104	115	35	424
歯牙障害	13	18	31	22	107	106	56	353
醜状障害	45	30	26	21	28	34	22	206
上肢下肢障害	18	25	29	23	35	29	17	176
精神・神経障害	11	16	28	21	40	39	16	171
心機能障害	3	5	10	11	18	30	24	101
胸腹部臓器障害	1	7	5	6	19	23	17	78
その他	11	8	18	9	30	22	10	108
合計	121	156	216	148	381	398	197	1,617

体育活動における障害見舞金の給付状況においては、図表に示したように学年進行とともに給付者数が増加する。中学生においては「眼の障害」が特徴的であるが、高校生で増加してくるのが「歯牙障害」である。上記期間における「歯牙障害」による障害見舞金の給付率は全体の21.8%を占めている。

学校管理下における歯の障害の傾向については、近年、減少傾向になってきたと言われているが、歯牙障害にかかわる障害見舞金の給付状況は障害全体の概ね20%～30%という状況が続いている。また、歯の外傷は圧倒的に前歯に集中していることから、高校生までの子どもたちが早期に前歯を失うことによる摂食機能、発音機能等の障害や審美性の低下などの心身に及ぼす影響は計り知れない。

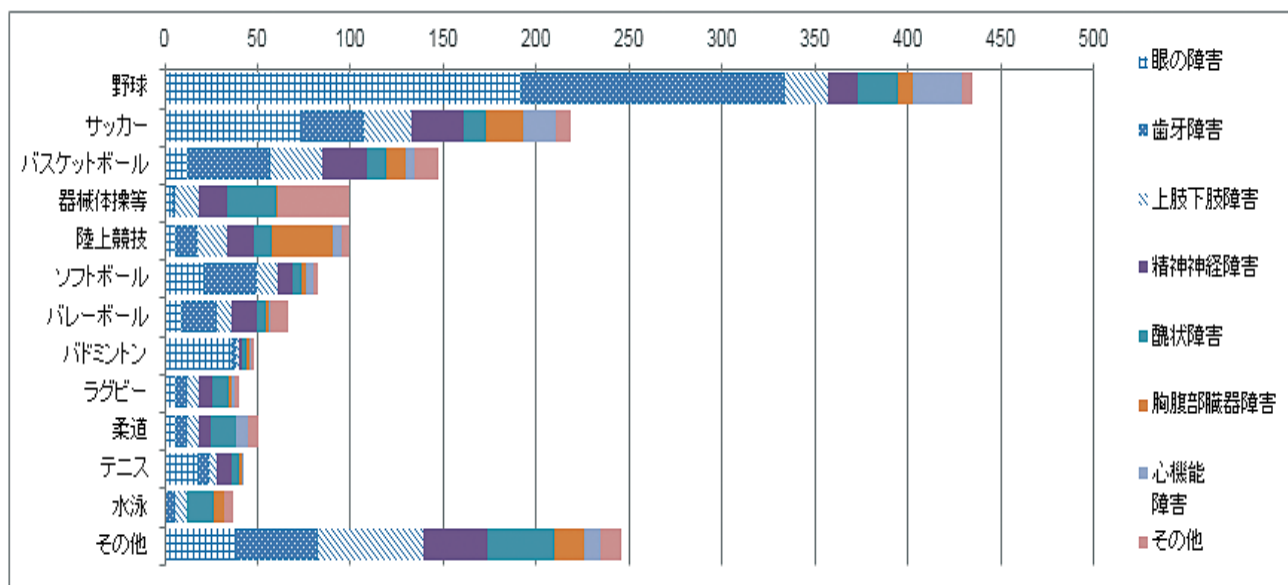
2. 歯・口の外傷

学校管理下での歯・口の外傷の発生は、発達段階によって、その原因は区別できる。例えば、小学校での外傷は廊下や階段での事故によるものが主であり、そのため生活安全指導が中心となる。中学生では校内での外傷と課外指導での外傷が同程度となることからクラブ活動時の外傷予防が必要になる。特に歯・口の外傷ではバスケットボールに外傷が集中する特徴を持っている。高等学校においては、まさに課外指導による外傷が中心となるので、クラブ活動における安全教育・安全管理の徹底を図るべきである。

場合別の傷害発生割合

	各教科	特別活動	課外指導	休憩時間中	寄宿舎	通学(園)中
小学校	20.5%	4.4%	1.2%	61.0%	0.0%	13.0%
中学校	22.4%	2.3%	34.0%	35.9%	0.0%	5.4%
高等学校	23.7%	1.2%	62.5%	8.7%	0.3%	3.6%

3. 運動・スポーツと歯・口の外傷



運動スポーツの中で、もっとも総数として外傷の多いのは野球である。ついで、サッカーやバスケットボールなどの球技である。

4. 安全教育へのアプローチ

① ルールの理解及びフェアプレーの精神の育成

スポーツ安全の最初はルールをしっかりと理解し、身に付けることである。小学校時代は運動も遊戯的な要素があるが、課外活動としてのスポーツを安全に行うには相手や審判を尊重し、フェアプレーの精神で臨むことが必要である。

② 技術の習得

幼少時から色々な身の動かし方を経験しておくことが外傷の防止に役立つと言われている。更に、スポーツ外傷の予防のためには、正しい技術と危険な行為を理解し、普段の練習で徹底的に身に付けておくことが必要である。

③ 施設設備ならびに用具の管理

体育館の床やコートあるいはグラウンドの整備点検はスポーツに入る前に必ず実行するように指導する。また、終了した際にも、掃除をしながら危険な箇所がないかどうか点検する必要がある。

④ 予見学習

スポーツ外傷では、特徴的な外傷の発生状況があり、統計的にも状況設定が可能である。したがって、どのような状況下で外傷が発生しているかを事例学習しておくことは予見性を高めるために有効である。

⑤ 安全具の使用

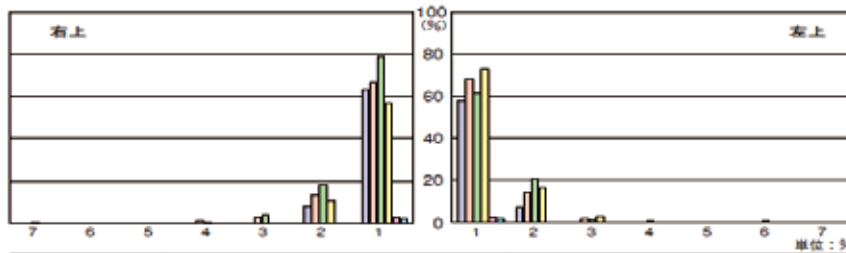
歯・口腔の外傷予防にはマウスガードが有効である。特に、歯科医院で歯列模型から作製するカスタムタイプマウスガードの有効性は高い。指導者に対しての啓発が必要である。

5. 安全管理へのアプローチ

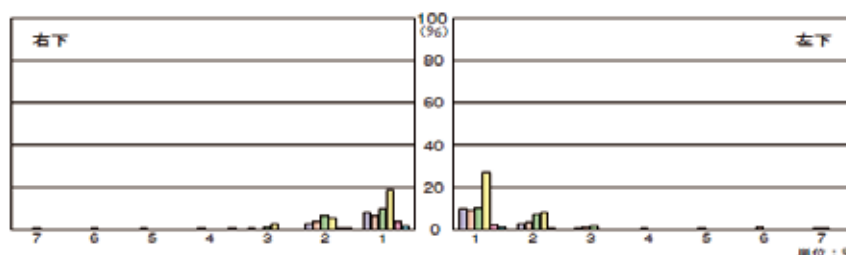
マウスガードは「スポーツによって生ずる歯やその周囲の組織の外傷を予防したり、ダメージを軽くしたりする目的で、主に上の歯に装着する軟性樹脂でできた弾力性のある安全具」を意味する。



永久歯の受傷割合



学校種別	右上							左上						
	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
小学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	8.2	63.2	57.8	7.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校	0.0	0.0	0.0	1.2	2.3	13.1	66.4	66.0	14.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校	0.3	0.0	0.0	0.6	3.6	18.3	79.0	61.3	20.7	1.5	0.9	0.3	0.6	0.3
高等専門学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	56.8	73.0	16.2	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



学校種別	右下							左下						
	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
小学校	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5	2.6	8.0	9.5	2.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
中学校	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	3.9	6.2	9.3	3.1	0.6	0.4	0.4	1.2	0.4
高等学校	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	6.6	9.6	9.9	6.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.3
高等専門学校	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4	18.9	27.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.4	2.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	1.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

外傷は上の前歯に集中して発生する。したがって、もし失うことになると、食べること、話すこと、顔の表情などに影響が出る。だからこそ、管理としては、環境管理とともに、主体管理の一つとしてマウスガードが有効になる。

6. 歯の外傷への対応

スポーツ外傷における受傷歯は圧倒的に上顎の前歯に多い。若年者では脱臼が多い。完全脱臼では対応が良ければ再植が可能であるので、現場での対応がカギとなる。完全脱臼歯は脱臼後約30分間、歯根膜細胞が生存していると言われ、この間であれば歯槽に戻すことによって再植が可能である。30分を超えて乾燥状態が続いたり、水に浸けられたりすると歯根膜細胞は死滅して、再植できない。

- ① 脱落した場合には急いで歯を探し、乾燥させない。
- ② 歯を持つときは、歯の根を持たずに、歯冠を持つ。
- ③ 可能な限り、30分以内に再植する。
- ④ 30分以内が無理であれば、市販の「歯の保存液」に浸しておく。
- ⑤ 「歯の保存液」がなければ、牛乳でも良い。

歯が脱落した場合に、再植できるかどうかは時間との戦いである。「歯の保存液」があれば焦ることなく対応が可能となる。「歯の保存液」あるいは牛乳に浸した場合には数時間は大丈夫である。

展示コーナーのご案内

会場：5階 中ホール（13：00～17：00）

日本学校歯科医会コーナー 日本学校保健会、日本学校歯科医会の出版物、冊子等の紹介と展示。	公益社団法人 日本学校歯科医会 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20 TEL 03-3263-9330
福岡県歯科衛生士会コーナー 特別支援学校向けの指導媒体。小学生低学年・高学年向けの口腔衛生教材などの紹介と展示。	一般社団法人 福岡県歯科衛生士会 〒810-0041 福岡市中央区大名1-12-43 TEL 092-741-6512
日本スポーツ振興センターコーナー 事故防止・災害共済給付に関する刊行物・教材カード等の紹介と展示。	独立行政法人 日本スポーツ振興センター福岡支所 〒810-0001 福岡市中央区天神4-8-15 福岡ガーデンパレス4階 TEL 092-738-8720
福岡県学校歯科医会コーナー 令和4年度福岡県歯科健康診断結果統計調査やマウスガードの紹介と展示。	一般社団法人 福岡県学校歯科医会 〒810-0041 福岡市中央区大名1-12-43 TEL 092-714-4627

全国小学生歯みがき大会について

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-6-1 本町南ガーデンシティ5階 TEL 06-7739-8422

フッ素入り歯みがき

グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1赤坂インターシティAIR TEL 03-4231-5108

八女茶の紹介

福岡県茶業振興推進協議会

〒834-0065 八女市亀甲55-1 TEL 0943-25-2887

無添加石けん

シャボン玉石けん株式会社

〒808-0195 北九州市若松区南二島2-23-1 TEL 093-791-8400

歯科用レセプトコンピュータ

東和ハイシステム株式会社

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目4-15 博多駅前H-44ビル4階 TEL 092-473-5020

学校歯科健診システム

株式会社システムマインド

〒500-8844 岐阜県岐阜市吉野町6-14 大樹生命岐阜駅前ビル3F TEL 058-264-2056

第28回 福岡県学校歯科保健研究大会

加盟団体並びに加盟団体会長

京都歯科医師会	佐藤義輝	久留米学校歯科医会	永尾禮二
豊前築上歯科医師会	松本山研一	八女筑後学校歯科医会	姫野尚清
田川歯科医師会	玉山光	大川三潑歯科医師会	堤安田
直方歯科医師会	赤間中敏	柳川山門学校歯科医会	松新島
飯塚学校歯科医会	赤植村	大牟田歯科医師会	田田中
宗像歯科医師会	水谷匡	門司歯科医師会	新島田
粕屋歯科医師会	岡村博	小倉歯科医師会	島田中
糸島歯科医師会	富田正	戸畑歯科医師会	田藤原
筑紫学校歯科医会	富嶋真	若松歯科医師会	吉原
朝倉歯科医師会	牛佐藤	八幡歯科医師会	武原
小郡三井歯科医師会		遠賀中間歯科医師会	
浮羽歯科医師会			

〈後援〉

日本学校歯科医会	九州大学大学院歯学研究院
福岡県学校保健会	九州歯科大学
福岡県教育委員会	福岡歯科大学
福岡市教育委員会	福岡県学校給食栄養士会
北九州市教育委員会	福岡県高等学校養護教諭研究会
福岡県歯科医師会	福岡県小中学校養護教員研究会
福岡市学校歯科医会	福岡県学校給食会
福岡県歯科衛生士会	福岡県P T A連合会
独立行政法人日本スポーツ振興センター	

〈協賛〉

八幡デンタル器材株式会社	アサヒプリテック株式会社
堤田貴金属工業株式会社	公益財団法人福岡県学校給食会
公益社団法人福岡県薬剤師会	有限会社筑後デンタル
株式会社トーデント九州	株式会社福岡銀行八女支店
福岡デンタル販売株式会社	株式会社ユーケイデンタル
相田化学工業株式会社	株式会社モリタ北九州支店
株式会社MEDIC	

※表紙の絵は、福岡県学校歯科医会主催、令和4年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール
の部の最優秀作品。久留米市立荒木中学校 3年 廣重 なつみ さんの作品です。

発行年月日	令和5年11月18日
発行所	〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43 一般社団法人福岡県学校歯科医会 TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599 E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp/URL https://fk-gakusi.jp
発行人	平瀬久義
印刷所	(株)大里印刷センター 福岡市東区二又瀬新町12-29 TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715



第81回 全国小学生 歯みがき大会



全国小学生歯みがき大会は、
小学生の歯と口に対する健康意識を育むことを目的に、
毎年「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」にあわせて開催しております。

参加小学校に教材を提供し、
収録した大会DVDで参加いただく事ができます。
日頃の歯科保健指導の一環として、ぜひご活用ください。

DVDで
参加する
歯みがき大会



開催概要

大会期間

2024年6月上旬予定

参加対象

小学校5年生

※4年生・6年生でも参加いただけます。
※いずれか1学年の参加となります。

参加費用

無料

※使用する教材（児童用ドリル、歯ブラシ、デンタルフロスなど）も無償で提供いたします。

定員

2023年10月中旬より、

申込期間

歯みがき大会サイトにて告知予定

申込方法

ライオン歯科衛生研究所のホームページよりアクセス

<https://www.lion-dent-health.or.jp/>

ライオン歯科衛生研究所

検索



※開催概要は、変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※2023年10月中旬より、全国小学生歯みがき大会サイトに「第81回 全国小学生歯みがき大会」に関するご案内を掲載いたします。

詳細は、全国小学生歯みがき大会サイトにてご確認ください。

主催：（公社）日本学校歯科医会 / （一財）東京都学校保健会 / ライオン株式会社 / （公財）ライオン歯科衛生研究所

後援：文部科学省 / 東京都教育委員会 / （公財）日本学校保健会 / （公社）日本歯科医師会 / （公社）東京都歯科医師会 / （公社）東京都学校歯科医会
（公社）日本歯科衛生士会

※記載団体は第80回大会のものであります。

お問い合わせ先

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28 ☎ 03-6739-9000 ✉ 6480@lion.co.jp

歯科DX「夢」実現

Digital Transformation

～日立AI 音声認識技術活用～
音声テキスト化 Recwareと連携

AI・音声電子カルテ

「会話録音・文章化」診療トラブル防止!!

新発売

夢のシステム誕生

創立45周年
特別割引キャンペーン
【期間：2023年5月～2024年3月まで】

AI・音声歯周病検査システム P-Voice 業務効率・生産性向上

歯周病 検査と記録も一人でOK!!

スマートグラス ～メガネ型のウェアラブルデバイス



メガネのようにかけるだけで
目の前に大画面が現れる

チェアサイドに
モニターやiPad がなくても
音声入力の画面確認ができる


- ①目線を下げて検査
- ②結果を音声入力
- ③目線を上げて確認

「右上 7」
「4」
「3」
「3」



[4172]

PHS
TOWA Hi SYSTEM CO.,LTD.

AI・音声お問い合わせ先
 **0120-108-588**



東和ハイシステム 検索

TEL 086-243-3003

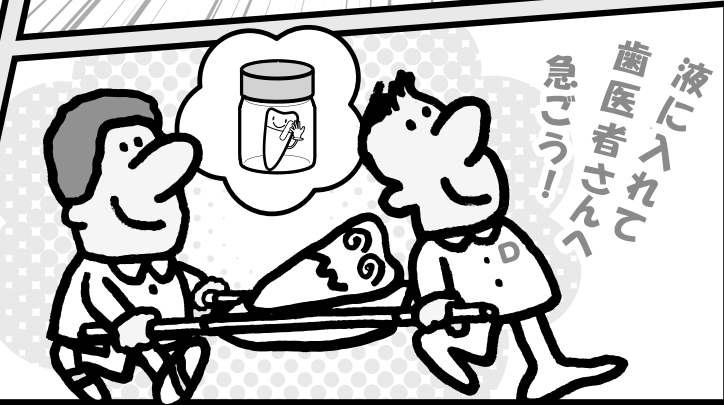
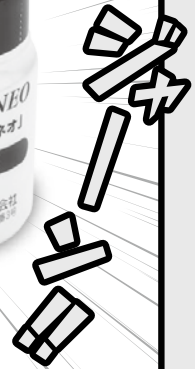
※当社製品は医療機器に該当しません。※Recwareは株式会社日立情報通信エンジニアリングの登録商標です。※日立製作所のデジタル対話サービス音声認識ソフトウェアを使用しています。※iPadはApple Inc.の商標です。

日本学校歯科医会推薦 ★日本中学校体育連盟推薦

★日本スポーツ歯科医学会推薦



Teeth Keeper NEO
 ティースキーパー®「ネオ」
 歯の救急保存液



ティースキーパー®「ネオ」は
 ケガで抜けた歯を、
 もとに戻すために
 歯医者さんに行くまでの間
 保護する救急保存液です。

歯の根の部分には、歯根膜とよばれる歯を支えている組織がありますが、この組織は乾燥に対して非常に弱く、口の外での生存は30分位が限界とされています。

しかし、歯根膜が生きていれば歯を元の位置に戻すこと(再植)によって、歯は再び機能を回復する可能性があります。

歯の救急保存液ティースキーパー「ネオ」は再植までの間、歯根膜を乾燥から守り生存させるための環境を与えます。

- 歯の根の部分を持たないこと。
- すぐに歯科医院へ行ってください。
- 再植した歯は最良の治療を行っても失われる場合があります。
- 使用に際しては説明書をよくお読みください。



〈成分〉 塩化カリウム・塩化マグネシウム・硫酸マグネシウム・塩化カルシウム その他

滅菌済 保存方法：室温保存／使用期限：製造後2年

製造販売業者

 **ネオ製薬工業株式会社**

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号

Tel. 03-3400-3768(代) Fax. 03-3499-0613

お問い合わせ ☎0120-07-3768

包装 40mL

標準価格(税抜) 1,600円



TS202212

Kawaryo Group



歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、
企業ができることの一つとして、限りある資源を大切に
そして有効に利用していくことがあります。
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)ICAWARYO九州

☎ **0120-920-942** 
HP <http://www.kawaryo-q.co.jp> ▶▶▶


九州本社 〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4

福岡支社 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11-1F

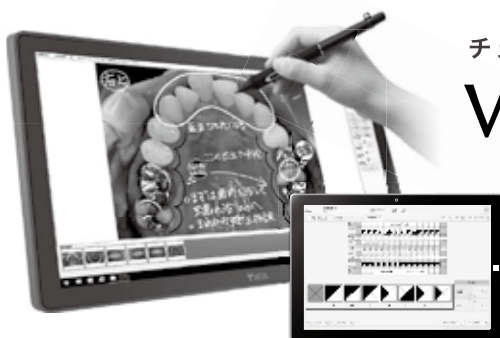
鹿児島営業所 〒891-0112 鹿児島県鹿児島市魚見町112-12

沖縄営業所 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12

株式会社 大里 印刷 センター

 **092-611-3118**

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29
FAX 092-629-2715 E-mail osato.p.c@clock.ocn.ne.jp



チェアサイド・マーケティング・ツール

VisualMax III **プラス**


ビジュアルマックス


患者コミュニケーションを円滑にして
患者さんに気づきを与え、
自由診療を伸ばす。

詳しくは、Webで



活用事例動画も！

ビジュアルマックス 

 **MEDIA** メディア株式会社 九州支店

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-18-30 八重洲博多ビル7F Tel: 092-433-6811 (代)

社会の未来のために、 私たちができることを。

西日本シティ銀行は、より良い社会の実現を目指し、
SDGs(持続可能な開発目標)/ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組みを推進しています。
地域のみならず社会の未来のために地域金融機関としてできることを考え、
グループ一丸となって積極的に取り組んでまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こまめな手洗い、デリケートな手肌にも 無添加の手洗い石けん

香料や抗菌剤・アルコールを使用していない
無添加石けん。こまめな手洗いにおすすめ。
手肌にやさしくスッキリ汚れを落として、
洗い上がりはしっとりします。



歯科医院でのこまめな手洗いにも
バブルガード For Dental



手洗いせっけんバブルガード



健康な体ときれいな水を守る。

シャボン玉石けん

☎ 0120-4800-95

